

- ・日本の食糧自給率が低いということは、わかっていたのですが、その中でも京都が低いというのは初めて知りました。自給率を下げているのは、飼料のことが大半とと思っていましたが、他に原因があることがわかりました。  
休耕田、耕作放棄他の問題は、今身近は問題で頭を痛めています。  
お肉はおいしかったです。モモもおいしかったです。生協のお店に行ったら、必ず鳥取牛を買っているの、一週間に200グラムは食べています。
- ・食糧自給率のお話の中で、お肉、たまご、牛乳は食べれば食べる程、自給率は下がり、その原因は飼料ということは（カロリーベースで計算することの？はあるが…）何とかしないと！と思うと同時に、まだまだ改良、開発の余地があると思った。  
現実的な面からすぐにできること、長い目で見て、あるべき方向性を見極めることの両方が必要だと思う。  
（さくらこめたまご、いつも買っています！ 牛肉はあまり食べません（豚肉が多い）が、一週間200グラムは協力しますヨ！！）
- ・生産者の方、消費者、牛さんにとっても、ムリ、ムダのないサイクルができればいいなあと思いました。子どもたちの未来も食に困らない安心・安全な世の中であってほしいです。
- ・貴重なお話しとごちそうをいただき、ありがとうございました。  
最近家庭菜園などが増えてきているのに自給率が低いなんて！！と思いましたが、よくよく聞いて、そういうことなのか…と勉強になりました。  
子ども達のアレルギー対策に、できるだけ豚や牛を食べないようにしていましたが…おいしい肉を鳥取牛さんで！！と思います。お安いコマ切れなど、期待しています。
- ・試食もあり、話もよく分かりました。  
日本の自給率の問題、資本主義国の日本について、他国との違いも考えさせられました。  
食と農は私達が日本で豊かに暮らしていくためにはとても大切なことなので、これからも知りたいです。
- ・日本の自給率の低さに驚き、またそれを支えていく農家、畜産農家の方の苦労も知ることが出来、大変勉強になりました。  
試食した肉もとてもおいしかったです。

- ・ 畜産農家さんのご苦労が分かり、とても勉強になりました。  
これからも頑張ってください。
- ・ 自給率の低さを知り、そこから各自が考えて、日本の農業の事をも考えて行こうと思え、よかった。
- ・ 二度目の勉強会でしたが、忘れていたことなどたくさんありました。  
大人はもちろん、子どもにも知らせていきたいと思いました。  
「40年前の日本の食生活」「自分達の食べてる物はどこから来ているの?」「色々なことで輸入ができなくなったらどうなるの?」などなど。絵本や紙芝居にできたらな…と。
- ・ おいしい肉と国産牛の関係、自給率のしくみ、試食と話が盛りだくさんでもっと知りたいなーと思いました。
- ・ 多岐にわたり、たくさんお勉強させていただきました。世界規模のお話から、家庭でできる第一歩まで、生協ならではの素晴らしい学習会でした。  
生産者さんと直接お話できると、意識が大きく変わり、また生活の中でも気をつけていきたいです。生協さんの自給率の事もとてもわかりやすく、何を食べても美味しく、充実した学習会でしたね。ありがとうございました。
- ・ 普段の生活の中で、何十年後…食べ物がなくなるなんて・・・という事を思っても、周りには何でもあるので、深刻に考えることなく過ごしていたけれど、お話を聞かせて頂き、本当に大変だと思いました。”毎週1回200グラムの産直鳥取牛を食べる”をしたいと思います。自分にできる身近なことから考えたいです。ありがとうございました。
- ・ 生産者側の直接の話がわかりやすく、とても良かったです。日本の自給率の低さは聞いて知ってはいるものの、改めて教えて頂き、切実な厳しい現実なのだ気づきました。  
意識を変え、少しでも手伝えができればと思いました。  
牛肉おいしかったです。もも肉もかみしめると美味しいお肉の味がしっかりして、おいしく頂きました。ありがとうございました。